



日刊日曜日... 発行所 平野町三丁目三番地 電話 三三三三

農業倉庫入りの 俵米七萬八千俵

石城販聯の賣米依然出廻薄

産組の融通額七十萬圓

石城販聯に於ける明後二十一日の俵米共同販賣は引續出荷薄で精々三百俵位かと云はれてゐるが相場は中央市況より見るも高歩調を當然とされればかりでなく農業倉庫の融通に賣米を押へられることとが本年は殊に甚大で平町の同倉庫には既に一万七千俵の入庫米を算し一俵につき九圓

課税案に反対する 産組代表者の上京

廿九日東都に開く全國大會へ

石城から諸橋、酒井の両氏

税制の改正によつて課税されんとする産業組合は此の改革案に於ても堅き糾合を練り同案の阻止運動にあつては各町村産業組合に於ける主眼部の政黨關係と密接な繋がりをもつ縣議及び代議士等に援助を求めて幾れて後止む底の大戦陣を張りつゝあるが来る二十九日東都の日本青年會館に開かれる其の爲めの全國産業組合代表者緊急大會は總數三千餘名に上るものゝ如く本縣からも約四十名出席の客で石城郡から馳せ参する一郡二名づゝの代表者は今庶民金庫の諸橋敬一氏

町長支會の 役員改選

石城郡町長支會では去る十六日の總會で役員改選を行はれたが評議員に若干の異動があるのみで其他は大体再選である氏名左記の如くである

支會長 青沼(中) 副會長 伊藤(飯野) 評議員 古川(植田) 金成(錦) 柳田(上野) 鈴木(豊間) 志賀(鹿島) 石川(湯本) 沼田(内郷) 金成(好間) 新妻(四合) 岸野(平達) 優良

ケーン逆戻り 下敷で即死

町村視察員は平と渡邊二町から(以上)

ケーン逆戻り 下敷で即死 一名は重傷する 小名濱築港にて 小名濱築港事務所第二工場に於て昨十八日午前十一時頃ケーン台を海から引揚げける作

平町公會堂建設費 四萬圓の寄附募集分擔區

町議總掛で近く交渉開始

平町公會堂建設する工費八萬圓の寄附を見込んでゐることは既報の如く右の中既に三井榮一氏より一萬圓諸橋久太郎氏より五千圓の寄附ある外現町議總掛長太郎氏から五百圓の内諾あり昨十八日町役場に開かれた町會議員の協議會に於て特別寄附百圓以上を納むる百四十四名の範圍から豫定の寄附を仰ぐことと寄附募集の分擔區域を左記の如く決し近く交渉を開始すると東部四、五丁目、新川町、月見町、大丁、立町、鎌田

若松聯隊旗奉賛會

石城郡下町村の分擔額

去る十五日福島市に開かれた若松聯隊旗奉賛會に於て決した軍旗奉賛會は若松聯隊旗の光輝ある歴史を一般に諒仰せしめ愛國愛郷の精神と國防思想を涵養する目的の下

常識講座

シツチングは着座またはモデルを置いて講義者が繪を描いてゐる間の時間或は卵を抱えてゐるとなどの謂だ、シツチング・ルームと云へば居間であるとかまた茶の間の類を指して云ふ

統計功勞で農林大臣の選奨授與

石城郡農林課長鈴木次郎氏

石城郡農林課長鈴木次郎氏は多年統計事務に従事した功勞で來二月十一日の紀元節當日島田農林大臣から選奨銀杯を授與されが郡内川前村の統計調査委員白土廣衛氏は同木杯を採與されると

逢ふ瀨

其筋の眼が光る

平町新道通りの藤田屋旅館事鈴木ため方へ去る十六日夜投宿せる男女二人の舉動が不審なので平署の取調べの結果男は東京市青梅町西分町九八紙は東京市青梅町西分町九八紙

平町諸團 十三日會

大 森 勇

テレビジョンに就て、早稲田大學教授川原政太郎(七年四月)川原博士はテレビジョンに關する世界的權威者である事は私の説明を持つて迄もない。博士が如何して平に來られたのか一言述べなければならぬ。星君が未だ口説きの生い揃はぬ青年者であつ

好間村の小火

石城郡好間村の北好間宇留居

石城郡好間村の北好間宇留居住炭坑坑夫矢吹助三郎(三)方から昨十八日午後二時頃炭火し住家一棟二戸に跨る屋根裏約八坪を焼いて十五分過ぎに鎮火した損害僅少原因は煙突の飛火から

湯本にも小火

石城郡湯本町の上町八〇野茶

石城郡湯本町の上町八〇野茶商大井川正巳(三)方から昨十八日午後四時頃炭火したが間もなく発見して同十時過ぎに消止めたが原因は朝に當る馬垣義吉(三)假名の風呂焚きの不仕末からで損害は僅少であると

富岡特信

産駒處理の新法實施で製糸家

大澤原はれた富岡魚津町の西田醫院に勤務する事になつた。西田院長は釋宗演の高弟で、骨を叩いて診斷する事も上手だつたが胸を叩いて診斷する事も上手だつたので魚津町の有力者が西田醫院に集る事を常とした。ある日破産の結果一家離散の憂き目にあつた氣の毒な少年が訪れて樂局生にでも使つて呉れまいかと嘆願した。この少年は星君のメンタルテストに及第して樂局生となつた。星君はある時

と特約する實行組合の改組は來る三月末までに縣の指導方針に基づくやうに組み直されざるであつて富岡製糸株式會社に於ても諸般の準備を進めたるが新法の施行は特約組合なるもの、存在によつてレニマの板挟みの態もあり窮余の一策に特殊の事情あるも余の余の間に製糸家側の活躍の余地を存するところから製糸家との提携特約に奔念し指導側を少なからず備へしてもある、従つて結局の途は現地主義をゆくこととなるであらうが片倉製糸に特約する富岡

謹啓 父加藤丈夫豫而病氣療養中の處藥石効無く十七日午前六時半死去致候間此段御通知申上候 追而葬送の儀は來る二十日午後一時自宅出棺 平町松宮院に於て佛式相續可申候 一月十九日 敬具

加藤 正政 加藤 正保 加藤 正盛 加藤 正茂 加藤 正次 加藤 正一 加藤 正三 加藤 正四 加藤 正五 加藤 正六 加藤 正七 加藤 正八 加藤 正九 加藤 正十 加藤 正十一 加藤 正十二 加藤 正十三 加藤 正十四 加藤 正十五 加藤 正十六 加藤 正十七 加藤 正十八 加藤 正十九 加藤 正二十 加藤 正二十一 加藤 正二十二 加藤 正二十三 加藤 正二十四 加藤 正二十五 加藤 正二十六 加藤 正二十七 加藤 正二十八 加藤 正二十九 加藤 正三十 加藤 正三十一 加藤 正三十二 加藤 正三十三 加藤 正三十四 加藤 正三十五 加藤 正三十六 加藤 正三十七 加藤 正三十八 加藤 正三十九 加藤 正四十 加藤 正四十一 加藤 正四十二 加藤 正四十三 加藤 正四十四 加藤 正四十五 加藤 正四十六 加藤 正四十七 加藤 正四十八 加藤 正四十九 加藤 正五十 加藤 正五十一 加藤 正五十二 加藤 正五十三 加藤 正五十四 加藤 正五十五 加藤 正五十六 加藤 正五十七 加藤 正五十八 加藤 正五十九 加藤 正六十 加藤 正六十一 加藤 正六十二 加藤 正六十三 加藤 正六十四 加藤 正六十五 加藤 正六十六 加藤 正六十七 加藤 正六十八 加藤 正六十九 加藤 正七十 加藤 正七十一 加藤 正七十二 加藤 正七十三 加藤 正七十四 加藤 正七十五 加藤 正七十六 加藤 正七十七 加藤 正七十八 加藤 正七十九 加藤 正八十 加藤 正八十一 加藤 正八十二 加藤 正八十三 加藤 正八十四 加藤 正八十五 加藤 正八十六 加藤 正八十七 加藤 正八十八 加藤 正八十九 加藤 正九十 加藤 正九十一 加藤 正九十二 加藤 正九十三 加藤 正九十四 加藤 正九十五 加藤 正九十六 加藤 正九十七 加藤 正九十八 加藤 正九十九 加藤 正一百

富岡特信 産駒處理の新法實施で製糸家大澤原はれた富岡魚津町の西田醫院に勤務する事になつた。西田院長は釋宗演の高弟で、骨を叩いて診斷する事も上手だつたが胸を叩いて診斷する事も上手だつたので魚津町の有力者が西田醫院に集る事を常とした。ある日破産の結果一家離散の憂き目にあつた氣の毒な少年が訪れて樂局生にでも使つて呉れまいかと嘆願した。この少年は星君のメンタルテストに及第して樂局生となつた。星君はある時

